

非性別二元論的なパートナー関係の形成
——X ジェンダー当事者の事例から——

武内今日子（東京大学大学院）

近年、日本において、男女に当てはまらないジェンダー・アイデンティティである「X ジェンダー」や「ノンバイナリー」がメディア等を通じて知られつつある。社会学においても、男女いずれかの主体を自明視する傾向に反省が促され、日本で暮らす X ジェンダー当事者が、日常生活において代名詞や服装、空間区分などの性別二元論的な制度や「世間」を重視する親の姿勢に困難を覚えつつ (Dale 2013)、非二元的な性別概念のもとで男女いずれでもない自己を複数の仕方でも解釈してきた仕方 (武内 2022) が検討されている。かれらが生きていくうえで、非二元的概念を知るだけでなく、親やパートナーなど親しい間柄にある人々から自己像や身体を肯定的に受容されることが重要だと指摘されてきた (町田 2018)。

なかでも日本のトランスジェンダー研究において、親による子のカミングアウトに対する反応が多く描かれてきた (荘島 2008; Ishii 2018; 武内 2021 など) ことをふまえ、本報告では X ジェンダー当事者を含むパートナー関係に焦点を当てる。性的／恋愛惹かれは、「X ジェンダーである」というジェンダー・アイデンティティの解釈にも密接に結びつく点でも当事者にとって重要性をもつ (Dale 2013: 265-321; 武内 2021a)。先行研究の多くは二元的な性別概念に依拠する当事者のパートナー関係に焦点化しており、X ジェンダー当事者については研究が少ないが、男女の二値に当てはまらない性自認自体は理解されにくいこと (武内 2021b) や、親族からの期待のために結婚する者だけでなく、結婚とは異なる関係性を志向する人々もいること (Dale 2013: 311) が指摘されている。本報告は既存の成果を整理したうえで、当事者がいかにして既存の制度やパートナーとの関係性を解釈しつつ、可能な限り非性別二元論的なパートナー関係を形成しようとしているのかを検討していく。

そのために、ミニコミ誌やウェブ上の議論のテキスト分析と、筆者が実施してきたインタビュー調査に基づく事例の分析をおこなう。ミニコミ誌等のテキストからは、X ジェンダー当事者の出会いの場の形成を概観し、とりわけ FtX (Female to X) の当事者においてパートナー形成の機会となる場がつけられていることや、アセクシュアルの場との関連性を示す。さらにいくつかの事例の検討から、既存の結婚制度のもとで非性別二元論的な関係形成が試みられている仕方や、パートナーシップ制度への非二元的な性別概念の組み込み、X ジェンダー同士のネットワークの延長としての家族概念の捉え直しといった実践を描き出していく。これらの検討は、性別二元論を自明視しない家族のあり方や、それをめぐって日本社会において現在生じている問題を浮かび上がらせる点で意義をもちうる。

【文献】

Dale, S. P. F., 2013, "Mapping 'X': The Micropolitics of Gender and Identity in a Japanese Context," PhD thesis, Sophia University Department of Global Studies.

Ishii, Y., 2018, "Rebuilding Relationships in a Transgender Family: The Stories of Parents of Japanese Transgender Children," *Journal of GLBT Family Studies*, 14(3): 213-37.

町田奈緒士, 2018, 「関係の中で立ち上がる性——トランスジェンダー者の性別違和についての関係論的検討」『人間・環境学』27: 17-33.

荘島幸子, 2008, 「私は性同一性障害者である」という自己物語の再組織化過程——自らを「性同一性障害者」と語らなくなった A の事例の質的検討」『パーソナリティ研究』16(3): 265-78.

武内今日子, 2021a, 「恋愛惹かれをめぐる語りにくさの多層性——「男」「女」を自認しない人々の語りを中心に」『現代思想』49(10): 39-49.

——, 2021b, 「「X ジェンダーであること」の自己呈示——親とパートナーへのカミングアウトをめぐる語りから」『ジェンダー研究』(24)95-112.

——, 2022, 「未規定な性のカテゴリーによる自己定位——X ジェンダーをめぐる語りから」『社会学評論』72(4): 504-520.

キーワード: トランスジェンダー、X ジェンダー、パートナー